



ミュージアムESD学習会

第5回



第5回
申込

ふれあいプログラムにおける動物の福祉評価はなぜ必要か

12月6日(金) 13:30~15:30 オンライン

参加費2000円 定員50名 対象:ミュージアム職員・教育に関わる人



話題提供

並木 美砂子

帝京科学大学
特任教授

プロフィール

博士(学術)。公立動物園での30年の勤務において、飼育業務と教育プログラムの計画と実施に携わり、「動物園における親子コミュニケーション」で博士号を取得。大学では主に動物園動物を対象とした「行動と福祉評価の研究」に従事し、学内飼育動物を対象とした動物実験委員会の業務も行っている。野生生物保全論研究会(JWCS)理事および全日本博物館学会常任委員。

多くの動物園や水族館では、飼育動物とふれあったり間近で観察したりしながら、保全のための教育活動が進められています。その活動において、動物福祉ガイドラインを参加者に理解してもらい、接近接触が動物と参加者双方にもたらす影響を共に考えていくことが大切だと思います。学習会では、身の周りの生き物たちの行動と、自分の行動との関係で体験していることをふりかえり、動物園、水族館における、動物を直接介在させた教育プログラムが、保全行動にどうつながるかを、考えていきます。

12月6日プログラム(予定)

- 前半**
モルモット介在のふれあい活動における行動とストレスについて
(足立区生物園との共同研究報告)
- 後半**
自分の体験交換(自らの行動と動物の行動の関係、間近な観察やふれあうことと保全のつながりについて意見交換)

モデレーター

岡部光太



京都市動物園

森沙耶



北海道大学
教育学院
/SciBaco

松本朱実



社会構想
大学院大学

後援

公益社団法人 日本動物園水族館協会
特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク

協力 地方独立行政法人天王寺動物園

助成 特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク 日比自然史基金

主催 一般社団法人ミュージアムESDコミュニティ

学習会スケジュール

回	月日	テーマ	話題提供者
6	1/24	ロジックモデルを使ってプログラムのロードマップを作ってみよう	桜井 良
7	2/14	ESDの学びの評価～ループリックを作ってみよう～	松本 朱実
8	3/14	ESD実践例の交換会	参加者

ミュージアムを学び合いのプラットフォームに
<https://museec31.wixstudio.io/museec>

